



2020  
— eisu創立55周年 —

## 激動の2020年。学びの力で未来に羽ばたけ!

激動の2020年が始まりました。AIの台頭、グローバリゼーション、人々の価値観の極限的な多様化など世界は急激に変化し、VUCA（ヴァカ）、つまり時代の先行き不透明感がどんどん増えています。

入試制度も同様です。2021年1月の「大学入学共通テスト」に予定されていた英語民間資格利用と国語・数学の記述問題の導入は急に見送られることになりました。国でさえ、一度出した施策を二転三転せざるを得ないような、これまでに例のない状態に陥っている感があります。

こうした先行き不透明な状況が続くなか、首都圏はじめ大都市圏では、近年の中学受験の過熱ぶりなど、教育熱心な層において低学年の段階から質の高い教育をスタートさせる動きが顕在化しています。ところが三重県では、日本のどの地方も抱えるような特有の問題、たとえば少子化の激しい進行、健全な競争環境の喪失、経済の低迷などに苦しめられ、大都市圏との格差がますます

広がっているように感じられます。

しかしこんな時代だからこそ、未来を担う子供たちには、自分自身の価値を高め、自分の人生を自分で切り開く、そんな独立自尊の精神を身につけてほしいと思います。

そして自分自身の価値を高めるための第一歩は、自分が持っている「学」びの「力」を高めることです。

「この学校に合格さえすれば、将来は安泰だ」——今やそんな時代ではありません。志望校に合格するために勉強するのではなく、より多くを学び、より広い世界に羽ばたくためにこそ、志望校合格を目指すのです。一人ひとりが自分で決めた夢や目標に向かって、思いっきり挑戦してください。

※ ※ ※

昨年11月3日文化の日に、恒例の「第32回eisu文芸カップ—文芸コンテスト・英語スピーチコンテスト」がeisu倶楽部湯の山（三重県菰野町）で開催されまし

た。ここでご紹介する福岡県の吉川孟さんのように、子供たちがこうした機会を発揮する優れた学びの力や卓越した個性を目の当たりにすると、今の子供たちにも無限の向上心と、未知の領域へ羽ばたこうという気概が十分にある。だから、私たちの未来は明るい——そういう楽観的な気持ちが湧いてきます。

私たちeisuは、子供たちの成長に資するような、私塾だからこそできる教育を思いきって追求します。そして子供たちの学びの努力をとことん支援し、その無限の向上心と歩みをともにしていく決意です。



eisu COO  
(最高執行責任者) 伊藤 奈緒



私立青雲高等学校(長崎県)から福岡大学医学部医学科現役合格を勝ち取った高校3年生の吉川孟さん。eisu文芸カップへの参加に大きな意味があったとの喜びの年賀状が本社に届きました。



夢“Dream”こそ、生きる“Life”力そのもの。夢こそ、高みを目指して常に羽ばたき続ける、人間の無限の向上心そのものです。そんな皆さんの向上心に寄り添うのが、私たちeisuの夢です。

2020年、創立55周年を迎えたeisuは、初心に還る思いで、夢の翼“Life Dream”エンブレムをつくり、皆さんに贈ります。目にしたとき、自分の夢についてふと見つめ直すきっかけになる。このエンブレムが、そんな役に立てば嬉しく思います。



eisu CEO  
(最高経営責任者)  
山本 千秋